

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2007年 5月

ISO/TC61(プラスチック)/SC9(熱可塑性樹脂材料)の最近の動向

1. ISO/TC61/SC9の構成

ISO/TC61/SC9は、熱可塑性プラスチック関係の規格の制定・改正等を担当し、幹事国はアメリカ(ANSI)である。現在のPメンバー(投票権有)は21カ国、Oメンバー(オブザーバ)は17カ国で昨年と比較しノルウエイがPメンバーよりOメンバーに移行しPメンバーが一カ国減少した。WG(作業グループ：原則として樹脂の種類毎に分類：15WG；表1参照)では、依然WGのコンビーナの空席が目立つが、空席だったWG18のコンビーナにANSIが就任した。また、WG21は、昨年のTC61国際会議(横浜)で当面プロジェクトが無いため暫くの間休止を宣言した。

表1 TC61/SC9のWG

WG	コンビーナ(団体)	タイトル
WG 6	アメリカ(ANSI)	ポリオレフィン
WG 7	空席	スチレン系樹脂
WG 8	オランダ(NEN)	ポリアミド
WG14	ドイツ(DIN)	ポリマーディスパージョン
WG15	ドイツ(DIN)	ポリカーボネート
WG16	休止	セルロースエステル
WG17	空席	熱可塑性ポリエステル
WG18	アメリカ(ANSI)	試験片の作成
WG19	イタリア(UNI)	ポリメチルメタクリレート
WG20	イタリア(UNI)	ポリ塩化ビニル
WG21	アメリカ(ANSI)	ポリオキシメチレン
WG22	当面休止を決定 アメリカ(ANSI)	ポリテトラフルオロエチレン 樹脂及び製品
WG23	ドイツ(DIN)	ポリビニルアルコール系 ポリマー及びコポリマー
WG24	オランダ(NEN)	ポリフェニレンエーテル
WG25	空席	ポリケトン
WG26	オランダ(NEN)	熱可塑性エラストマー

なお、国内SC9委員会にはSC2(機械的性質)/WG6(試験片の形状)、SC2/WG8(データの表記方法)の活動が含まれる。

ここでは、2006年9月に横浜で開催された第55回TC61年次国際会議での主たる規格の制定・改正審議結果及び課題をWG(作業グループ)別に記述する。(規格の名称は一部省略して記載した。)

2. WG6(ポリオレフィン)

(1) **FDIS 1872-2 Polyethylene—Part 2: Preparation of test specimens and determination of properties** (ポリエチレン：試験片の作り方及び特性の求め方)

日本提案で、日本がPL(プロジェクトリーダー)となることにより順調に進捗している。横浜会議では、試験片厚さの影響度を報告し、2006年1月26日に発行された。

(2) **ISO 1873-2:1997 Polypropylene—Part 2** (ポリプロピレン：試験片の作り方及び諸性質)

本規格も同様に日本がPLとして進めており、現在FDIS投票準備中である。

(3) 1規格の**Sys.Rev.**(定期見直し)の審議が行われ引用規格の最新化のためFDIS投票より行われることとなった。

ISO 11542-1:2001 PE-UHMW-- Part 1: Designation system and basis for specifications

(超高分子量ポリエチレン第1部：呼び方、仕様)

3. **WG7** (スチレン系樹脂) 会議開催されず。

4. **WG8**(ポリアミド)

(1) **FDIS 307 Polyamides** – Determination of viscosity number (ポリアミド：粘度数測定)

FDIS 段階に進むことが議決され、現在投票集計中。

(2) **CD 1874-1 Polyamide (PA)–Part2:** (ポリアミド：呼び方、仕様)

横浜会議での議決により CD 投票が開始された。日本はこの改正に会議の場で反対したが、議事録にも記載されず無視され投票が開始された。次回年次会議で再度反対意見を提出する予定。

5. **WG14** (ポリマーディスパージョン) 議開催されず。

6. **WG15** (ポリカーボネート) 会議開催されず。

7. **WG17** (アルキレンテレフタレート) 会議開催されず。

8. **WG18 (WG9B)** (試験片の作製)

(1) **CD 27547-1 Preparation of test specimens using mouldless technologies -- Part 1: General principles, and laser sintering of specimens (Laser sintering 法による試験片の作製)**の CD 投票が議決され、現在投票中である。日本にはこの技術はなく、賛成投票した。

(2) 4 規格の **Sys.Rev.** (定期見直し) の審議が行われ、**294-1** 及び **294-2** は引用規格の最新化のため FDIS 投票から、**294-4** 及び **294-5** は若干の技術的修正を行い DIS 投票から実施されることとなった。

ISO294-1:1996 Injected test specimens -Part 1: General principles and multipurpose specimens(通則及び多目的試験片)

ISO294-2:1996 Part 2: Small tensile bars(小型引張試験片)

ISO294-4:2001 Part 4: moulding shrinkage (成形収縮率)

ISO294-5:2001 Part 5: Preparation of test specimens for investigating anisotropy (異方性を求める試験片の作製)

9. **WG19** (PMMA) 会議開催されず。

10. **WG20** (塩化ビニル樹脂)

(1) **DIS 4575 Polyvinyl chloride pastes --**

Determination of apparent viscosity using the Severs rheometer(ポリ塩化ビニル：ペーストレオメータを用いた見掛け粘度の測定)

日本の改正提案によるもので、DIS 投票の結果 100%の承認を得、FDIS をスキップし発行段階へ進むことが議決された。

(2) **CD 23911 Determinations of dark specks by vibrating chute method'(振動シュート法による異物の求め方)**は、DIS 投票へ進むことが議決され、現在投票中である。

11. **WG21**(ポリオキシメチレン)

(1) **DIS 9988-2 Polyoxymethylene –Part 2** (ポリオキシメチレン：試験片の作り方、諸性質)

DIS2 投票の結果 100%の承認が得られ FDIS をスキップし発行された。

コンビナーナの Dr. S. Sinker(USA)は、横浜会議を最後に退任すると表明し、当面この WG のプロジェクトは無く休止することが議決された。

1 2. **WG22** (ポリテトラフルオロエチレン) 会議開催されず。

1 3. **WG23** (ビニルアルコールコポリマー)

(1) **NWIP(Ultra centrifuging technology** による **PVA** の分子量測定法) この **NWIP** は投票で否決されたが、再度投票が行われ、会議で審議をおこなった。日本は、同機器の特殊性を理由に反対し、反対意見が多勢のようであった。

1 4. **WG24** (ポリフェニレンエーテル)

(1) **ISO 15103-1:2000 Poly(phenylene ether) (PPE) – Part 1** (PPE : 呼び方及び仕様表記)

ISO 15103-2 :2000 – Part 2 (第2部 : 試験片の作り方, 諸性質)

日本が PL で原案を作成。**ISO 15103-1** は、CD 投票で承認されたが、会議での審議により規格番号を **28941-1** に変更して DIS 投票へ進むことが議決され、現在投票中である。**ISO 15103-2** は、DIS 投票で 100% の承認を得たが FDIS 投票を行うことが議決された。

(2) **CD 25137-1、-2** (Sulfon plastics 材料規格:USA 提案)の CD 投票結果を審議し、DIS 投票へ進むことが議決され、現在投票中である。

(3) **WD 28078-1、-2** (PPS 材料規格) 日本提案のこの規格の **NWIP** 投票の結果を審議し、反対であったアメリカを説得することにより CD 投票へ進むことが議決された、現在投票準備中。

1 5. **WG25** (ポリケトン) 会議開催されず。

1 6. **WG26** (熱可塑性エラストマー)

(1) **NWIP 10350-3 Single point data - TPE** (シングルポイントデータ - 熱可塑性エラストマー)は、**SC2/WG8** の提案であるが、同 **WG** ではこの開発が困難で **WG26** で開発することとなった。TPE を性質(例えば硬度)に分類し、その分類毎の規格作成を検討する予定。

1 7. **SC2/WG6(SC9/WG9B:試験片の形状)**

(1) **DIS 20753 Plastics – Test specimens** (プラスチック試験片寸法)

日本からの反対コメント他により、DIS2 投票中で今までのコメントを審議したが、現在投票結果集計中の段階で止まっている。

1 8. **SC2/WG8(SC9/WG9A:データの表記方法)**

(1) **DIS 10350-1 : Acquisition and presentation of comparable single-point -- Part 1: Moulding materials** (シングルポイントデータ成形材料)

DIS 投票でのコメントによる修正を加え FDIS 投票へすすむ予定が、幹事国の手違いからか暫く進捗が無く会議で確認を行い、再度原案を中央事務局へ送付することを議決した。

(2) **ISO 17282 : Guide to the acquisition and presentation of design data** (デザインデータの取得と提示のためのガイド)

日本より、同規格内の多くの編集上の誤記を指摘し、この規格の修正版が発行された。

(以上)